



奈良女子大学同窓会佐保会

滋賀支部だより

平成 29 年 7 月 24 日
佐保会滋賀支部

暑い日が続きますが、皆さまお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。
今回の支部だよりでは総会・懇親会の報告、《こんにちは☆支部会員さん》
お知らせを掲載しております。
第 17 回・18 回おうみ佐保塾のご案内を同封しています。あわせてお読みください。

平成 29 年度滋賀支部総会・講演会

日時：平成 29 年 6 月 4 日（日）10 時 30 分～14 時 30 分

場所：琵琶湖ホテル 5 階「萩」

参加者：総会・講演会 33 名 懇親会 31 名

総会に先立ちましてこの 1 年の間に逝去された方々へ黙とうを捧げました。

総会では、提案しました議事を全て承認いただきました。

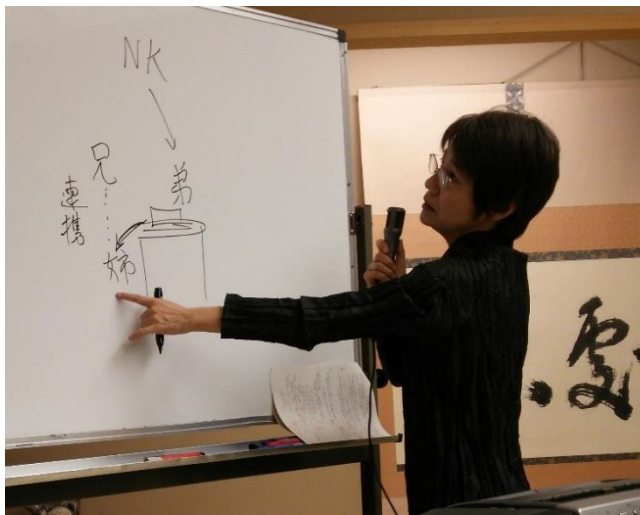
規約の改正により地区委員の人数が 6 人～10 人 となりました。また、一般社団法人佐保会派遣役員を 支部会員 の中から選出できるようになり、多くの方の中からふさわしい人材を派遣できるという可能性が広がりました。

講演会では、木村小夜氏（S60 文学部国語国文学科卒、福井県立大学教授）から「太宰治風アレンジとは？ —『葉桜と魔笛』を読み直す—」と題した講演をいただきました。

懇親会では、昭和 34 年卒業の方から平成 26 年卒業の方までが和やかに懇談されました。特に昭和 60 年卒の方たちは木村さんとともに同期の集まりを楽しんでおられました。



講演会の感想



専門家でなくても読むことができる、そして読めば誰でも理解できる、万人にひらかれた小説。そんな「小説」を「研究する」とはどういうことか・・・日本近代文学研究者で福井県立大学教授の木村小夜氏は、今回、太宰治の作品を通して、とてもわかりやすくお話をしてくださいました。

太宰治は、他人の文章を素材として自分の作品に貪欲に取り込む作家で、それが最初から明示されているものもあれば、隠れた原典が後に明らかになったものもあります。「葉桜と魔笛」は後者の作品で、尾崎一雄の「ささやかな事件」が原典だと木村氏は読み解きました。木村氏によれば、二つの作品には多くの共通

点がありますが、いくつかの相違点もあって、そのアレンジこそが、太宰作品の個性といえます。見た目はよく似ていても、全く違う意味づけの作品となったのです。それは、もとの部品を抜いて自分の部品を差し込んだ建築物に喩えられます。

板書を使った木村氏の丁寧な説明によって、これらの部品ひとつずつが解き明かされ、「ささやかな事件」の現実的な話が、太宰の見事な腕前で「葉桜と魔笛」の虚構性に富んだ物語へとアレンジされた面白さに、わくわくしながら、身を乗り出して聞き入りました。自分の主観だけで読むよりも、研究者の力を借りて、作品の素材と構造を知り、緻密な構築性に気付くことで、小説はこんなにも面白く読めるという、貴重な経験をさせていただきました。あっという間に過ぎた一時間でした。(Y.H.)

《こんにちは☆支部会員さん》 vol.①

・・・様々な場でご活躍中の支部会員の方々を紹介させていただくコーナーがスタートしました。初回は、支部ホームページの『会員の作品』欄に、御所車のトールペイント作品を展覧して下さいました村澤民子さん（S43 理数）です。・・・

木漏れ日が美しい六月のある日、私たち取材班3名は、村澤民子さんのお宅を訪問しました。玄関前に掛けられた、美しいトールペイントのウェルカムボードにまず目を惹かれ、次に引き戸が開けられたら・・・そこには数々の作品が並び、一斉に歓声が。各お部屋にも細やかな意匠をこらした作品が多数飾られており、ひとしきりトールペイントのお話の花が咲きました。

このようにトールペイントに打ち込んでこられた村澤さんですが、「教職を辞したら油絵を」との思いをずっと温めてこられました。念願かなって入門された先生のもと、まずはデッサンや色彩など基本をみっちり学ばれました。そこで描かれた欧州の街並みの作品が旧・京阪石山駅近くのショーウィンドーに飾られ、何人かの支部会員さま方から「見たよ」と嬉しいご連絡があったそうです。支部の繋がりに心が温まります。

思いもかけず早くに最初の師が亡くなら



れ、その後別の師を得られて、本格的に油絵制作を開始されました。一作品に何日も時間をかけてじっくり仕上げてください。取材班が特に魅力を感じた、写真の2作品…唐橋公園テニスコートの桜の絵と、オランダのキューケンホフ公園の小舟の絵を、ここではカラーでご覧いただけなのが残念です。展覧会でも大好評を博しました。(支部ホームページ『会員の作品』欄をご覧ください) 村澤さんの絵画の特長は、落ち着いた色調でありながら華やかさを感じさせる色遣いと、物語性のある構図ではないかと拝察致します。欧州の景色の素晴らしい絵を数点描いておられますが、基本は滋賀の景色にこだわって制作されたいとのこと。テニスに行かれた折に見られた景色や、西国三十三か所のお寺など、完成した作品や、制作途中の作品を数々拝見しながら、話は尽きませんでした。

好きな画家は小倉遊亀先生とのこと。そう言えば、物語性や落ち着いた華やかさなど、小倉先生と村澤さんの作品の間には、通じるものがあるように感じました。これから制作される作品も是非拝見したいと願いながら、賑やかで楽しい取材を終えました。

取材班/井上加代子(写真担当)(S46 家被)、松本匡代(S60 理物)、高原早苗(S60 文社)～取材させていただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。支部長までご連絡願います～

お知らせ

第17回・18回おうみ佐保塾

近江の歴史探訪 安土城

第17回 平成29年10月6日(金) 13:30～15:30 草津市立まちづくりセンター

講師:高木 叙子 氏(安土城考古博物館学芸課副主幹、H3 文修史)

第18回 平成29年11月17日(金)

講演・見学会 滋賀県立安土城考古博物館

*同封のご案内をご覧ください。お申し込みをお待ちしています。

安土城考古博物館のご紹介

ここは、私が平成4年開館当初より12年間、県の発掘調査の出土遺物の保存、分析、整理作業に従事した博物館です。そんなご縁から今回のおうみ佐保塾を開催することになりました。

安土城や信長に関する資料はもちろん、琵琶湖や内湖の縄文時代の遺物、農耕の弥生時代の資料、有名な野洲の大岩山銅鐸を初め、瓢箪山古墳の竪穴式石郭の実物大模型もみどころです。

博物館周辺は、安土城天守の復元展示する《信長の館》や 織山(きぬかさやま)の麓に位置し散策も楽しく、広大な芝生広場や遊具、また屋根つきの施設も点在し、家族みんなでお弁当を持ってのお出かけも楽しい場所です。

開館25周年記念企画展『近江の城を掘る』が、7月15日(土)から9月18日(日)まで開催されています。一足早くお出かけしてみませんか? 小南葉子(S57 家住)



平成 29 年度新入会員の紹介

河下 ひかる	文	人文社会学科歴史コース	長浜市
中川 真梨子	文	言語文化学科ヨーロッパアメリカ言語文化学コース	大津市
高木 万由葉	文	人間科学科教育学・人間学コース	大津市
工藤 真弓	理	化学科	彦根市
西村 郁未	理	化学科	大津市
一色 麻来	理	生物科学科	野洲市
後藤 茜	生環	食物栄養学科	大津市
近藤 千紘	生環	住環境学科	奈良市
志和 睦	博前	人間文化研究科食物栄養学専攻	茨木市
竹村 優希	博前	人間文化研究科住環境学専攻	京都市

お悔み 心よりご冥福をお祈りいたします。

牧野俊子様 (S36 家被) 平成 29 年 2 月ご逝去

本部や他支部の行事へ参加してみませんか

佐保会本部や他支部（兵庫・大阪・京都・奈良）では多彩な行事を行っています。思いがけない方との再会もあるかもしれません。詳しくは佐保会ホームページをご覧ください。「佐保会」でご検索ください。

お願い

- ・皆様の作品をお寄せください。ホームページ・支部だよりに掲載させていただきます。
- ・会員の皆様の受賞の情報などご存知でしたらお知らせください。広くご紹介したいと思います。
- ・投稿・情報のご提供は支部長までお願いします。
- ・平成 29 年度の会費未納の方には払込取扱票を同封しています。できるだけゆうちょ銀行の ATM で納入をお願いします。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は ATM を利用して口座間振替（月 3 回まで手数料無料）のご利用をお願いいたします。既に払い込み済みの場合はご容赦ください。
- ・住所・電話番号などを変更された方は支部長までご連絡ください。
- ・滋賀支部ではホームページを開設しています。「佐保会滋賀支部」でご検索ください。
- ・支部の行事をお手伝いしてくださる方はいらっしゃいませんか。支部長までご連絡ください。
- ・支部長への連絡先は封筒に記載してあります。ホームページからもご連絡いただけます。

今回の支部総会では、昭和 60 年卒の役員の呼びかけにより、同期の集まりが実現しました。その他にも思いがけない嬉しい出会いもあったようです。支部総会の後で同期会をしたいと思われる方はご相談ください。お手伝いいたします。

次はおうみ佐保塾でお目にかかるのを楽しみにしております。
健康に留意されて暑い夏を乗り切りましょう。

